

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		交通安全対策事業		コード		02100100-0101	
中事業名		交通安全対策事業		計画区分		①	
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称	
	基本目標	02	安全・安心を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	10	交通安全・防犯・消費者行政		款	08	土木費
	主要施策	01	地域における交通安全対策の推進		項	02	道路橋梁費
					目	02	交通安全施設費
					大	01	交通安全対策事業
					中	01	交通安全対策事業
根拠法令・条例等		道路法、河川法					
基本計画等		通学路交通安全プログラム整備計画					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	各種交通安全施設の適正な整備及び維持管理を行い、道路利用者の安全性、快適性を確保する。
対象	道路、道路付属物等
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	道路面のカラー塗装、ガードレール等の設置・修繕

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			13,000	12,183	13,066	12,804	204,790	93,375	31,800
財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,450	1,538	451	177	26,701	0	3,341
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	138,000	33,000	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		10,550	10,645	12,615	12,627	40,089	60,375	28,459
人件費	正規職員	業務量		0.60 人		0.50 人		0.80 人	0.00 人
		人件費		4,214.00		3,512.00		5,619.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				16,397		16,316		98,994	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	各区からの要望や通学路交通安全プログラム等に沿って、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。通学路については、令和6年度より中学校区を1つ増やし、2中学校区を対象とする。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	安全性をより高めるため、実施可能な歩車道境界にはガードパイプの設置を行っていく。
令和 6年度に 取り組んだこと	通学路交通安全プログラムでは、防護柵の設置を行い、香久山地内及び日生梅森園地内には、ハンプ等の交通安全施設を設置した。
成果	歩車道境界ブロックから防護柵になったことで、安全性が向上した。ハンプ等の設置により、交差点や横断歩道の視認性向上が図られた。
課題	通学路は毎年、変更されるため、交通安全対策を実施した道路が通学路では無くなることもある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	交通安全対策を実施することで、通学路における生徒の安全性を確保できている。交通安全対策事業は、市民の安全・安心な暮らしを確保する上で重要かつ必要な事業であり、今後も継続していく必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		交差点や路側カラー舗装について、効果を保ちつつ、可能な限り施工面積、施工幅を縮小していく。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		安全性をより高めるため、実施可能な歩車道境界には防護柵の設置を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	60.00	48.70	60.00	30.80	60.00	56.70	60.00	

【アウトカム指標】

指標名	人身事故発生件数（日進市）						単位	件
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	250.00	275.00	250.00	252.00	250.00	225.00	250.00	
式	人身事故発生件数（日進市）							
指標の狙い	地域の安全・安心につながり、事業効果が分かりやすい指標とした。							

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業		コード		03110100-0105	
中事業名		市道赤池・浅田 2 号線整備事業		計画区分		①	
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	02	道路橋梁費
					目	03	道路整備事業費
					大	01	道路整備事業
					中	05	市道赤池・浅田 2 号線整備事業
根拠法令・条例等		道路法					
基本計画等		－					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	交差点改良による右折帯の設置並びに歩道の確保を行う。
対象	市道赤池・浅田2号線
意図（目的）	主要地方道と連続する市道の整備を行うことで、慢性化している交通渋滞の緩和と通行する市民の安全を確保する。
手段	用地買収、道路工事

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			29,039	26,993	36,340	36,340	6,270	5,980	68,000
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	10,500	12,550	18,170	17,500	2,539	2,850	30,060
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		18,539	14,443	18,170	18,840	3,731	3,130	37,940
人件費	正規職員	業務量		0.80 人		0.90 人		0.30 人	0.00 人
		人件費		5,619.00		6,322.00		2,107.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				32,612		42,662		8,087	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	用地買収が完了し、今後は工事を行っていく。引き続き愛知県と連絡・調整を図りながら、関係機関協議などを進めていく。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	令和7年度に豊田川のボックスカルバート施工を予定しており、関係機関との協議を図りながら、県費補助を得て事業を推進する。
令和 6年度に 取り組んだこと	用地取得済みの歩道について、一部施工を実施した。また、令和7年度の豊田川のボックスカルバート施工に向けて、電柱及び埋設電線の移設交渉を進めた。
成果	歩道が無かった箇所に歩道が新設され、部分的に安全が図られた。中部電力と調整を行い、令和7年度の施工前までに電柱及び埋設電線の移設をすることとなった。
課題	愛知県と共同で交差点改良を進めていることから、愛知県の事業進捗に合わせて日進市の事業進捗を図る必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	本事業は右折帯及び歩道が整備されることで、渋滞緩和及び歩行者の安全確保の効果を発揮できることから、計画範囲が全て整備されるまでは、引続き事業を推進していく必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		豊田川のボックスカルバート工事を実施する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		農水管を布設替えする区間があるが、農水利用者が休耕している様子があるため、真に必要な施工か確認し、不要な場合は計画を変更して事業費を抑える。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数						単位	筆
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	2.00	2.00	2.00	4.00				

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	42.50	42.50	60.00	60.00				
式	測量・設計進捗率（20％）＋用地取得率（40％）＋道路整備率（40％）							
指標の狙い	事業の進捗度合がわかりやすい指標とした。令和5年度で用地取得は完了したので、令和6年度からはアウトプット指標を新たに工事実施率とする。							

令和06年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標2】

指標名	工事实施率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
					5.00	9.00	53.00	

【アウトカム指標2】

指標名	舗装整備進捗率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
					4.00	4.00	4.00	
式	(過年度舗装整備面積+当該年度舗装整備面積) ÷ 計画舗装整備面積 (1943.3㎡)							
指標の狙い	渋滞緩和（右折帯設置）及び歩行者の安全確保は、計画どおり舗装整備されていることで適うことから、舗装整備進捗率を指標とした。							

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業		コード		03110100-0106	
中事業名		(都) 野方三ツ池公園線整備事業		計画区分		①	
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	02	道路橋梁費
					目	03	道路整備事業費
					大	01	道路整備事業
					中	06	(都) 野方三ツ池公園線整備事業
根拠法令・条例等		道路法、土地収用法					
基本計画等							

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	香久山と野方町・浅田町を結び、本市の新たな南北軸として整備する。
対象	(都) 野方三ツ池公園線
意図（目的）	主要幹線道路を補完し、市内の分散立地する市街地や集落地相互の交通流動を円滑に処理する。
手段	用地買収、道路工事

2 実施結果「D0（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			199,929	177,553	89,439	4,182	68,901	52,405	407,776
財源内訳	特定財源	国庫支出金	63,542	81,458	19,338	0	8,451	12,000	49,506
		県支出金	0	0	2,788	0	0	0	40,599
		地方債	0	0	0	0	33,000	22,000	132,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		136,387	96,095	67,313	4,182	27,450	18,405	185,671
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.90 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		6,322.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				177,553		4,182		58,727	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	工事の進捗を緩めないためにも、地権者ごとに期限を設定し、積極的に用地交渉・用地取得を進めるとともに、令和7年度の橋梁下部工事に向けて引き続き詳細設計等を実施する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	用地交渉・用地取得を進めながら、橋梁工事等を行っていく。
令和 6年度に 取り組んだこと	警察、県河川管理者及び県道管理者協議、並びに橋梁及び第2工区の詳細設計の作成を行った。 第1工区用地の取得及び第2工区の用地測量を進めた。
成果	警察、県河川管理者及び県道管理者協議を終えて、橋梁及び第2工区の詳細設計が完成した。 第2工区の用地測量立会を終えた。
課題	設計を進める中で、新たに仮設道の整備や盛土材の調達が必要となった。 買収残地の機能補償の検討事項が発生した。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	本路線は、脆弱な道路網を強化する幹線道路であり、また整備後は、渋滞緩和や生活道路の通過交通など市が抱える課題解決に寄与することから、早期開通に向けて今後も推進していく必要があるため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		盛土材の調達・調整及び渇水期内に施工を納める徹底した工程管理を行う。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		用地取得状況を見据えた事業計画や工程の見直し、施工に向けて地元住民、県道管理者や県警との事前調整を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数						単位	筆
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	17.00	16.00	3.00	2.00	7.00	8.00	6.00	

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率（第1及び第2工区）						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
					30.00	30.63	47.00	
式	測量進捗率（10%）+設計進捗率（詳細設計累計額÷全体設計額×10%）+用地取得率（用地取得済面積÷全用地面積×40%）+道路整備率（工事費累計額÷全体工事費×40%）							
指標の狙い	事業の進捗について、俯瞰して見ることができる指標とした。なお、令和5年度に第2工区の事業化が決定したため、令和6年度から第1及び第2工区を合わせた新たな指標とした。							

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業		コード		03110100-0302	
中事業名		スマートインターチェンジ整備事業		計画区分		①②③	
担当部等		産業政策部		担当課等		基幹施設整備課	
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	02	スマートインターチェンジ整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略 等					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	東名高速道路へのアクセス性向上による産業振興・物流効率化や、一般道の渋滞緩和、観光施設及び防災拠点へのアクセス性向上などの効果が期待される、（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備を推進する。
対象	スマートインターチェンジ、周辺道路等
意図（目的）	スマートインターチェンジ及び周辺道路を整備することにより、東名高速道路へのアクセス性向上による市民の利便性の向上、周辺企業活動の活性化、観光地の振興促進、大規模災害への対応強化を図る。
手段	スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備に向けた関係機関との調整及び設計、用地取得、工事

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			112,351	74,744	29,262	8,318	119,729	39,325	30,825
財源内訳	特定財源	国庫支出金	14,175	0	360	129	11,123	10,096	2,555
		県支出金	0	0	0	0	3,587	1,374	4,321
		地方債	0	0	0	0	71,000	9,000	0
		その他	31,972	30,014	0	4,810	2,053	8,253	6,607
	一般財源		66,204	44,730	28,902	3,379	31,966	10,602	17,342
人件費	正規職員	業務量		1.93 人		2.93 人		3.25 人	0.00 人
		人件費		13,556.00		20,580.00		22,828.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				88,300		28,898		62,153	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	地権者と調整を図り用地取得を進めるとともに、整備に向け、スマートインターチェンジ及び周辺市道の施工計画等について検討する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	引き続き用地の取得を進める。また、事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。
令和 6年度に 取り組んだこと	地域調整を計画的に進め、施工計画の検討、調整を実施した。また、用地に関する調査等を行い、条件が整った箇所から用地取得のための交渉、買収を行った。
成果	施工計画の検討を、地域と調整を行い進めることができた。また、事業用地の取得については、地権者と交渉を進め、下り線側の用地の一部を取得することができた。
課題	工事に向け、周辺住民や地権者に対し引き続き丁寧な説明を行い、理解を得ながら着実な事業の進捗を図る必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	地権者と交渉を進め、用地取得を行うことで事業の進捗を図る必要がある。なお、関係機関との協議を進め、事業進捗の調整を行う必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		用地取得を進めるとともに、整備に向け、関係機関と協議、調整を実施する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	関係機関との会議等の開催回数						単位	回
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	3.00	3.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	

【アウトカム指標】

指標名	スマートインターチェンジ整備率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	32.00	30.00	38.00	34.00	36.00	38.00	42.00	
式	事業化率(10%)+設計進捗率(20%)+用地委託進捗率(10%)+用地取得率(20%)+工事進捗率(40%)							
指標の狙い	(仮称) 東郷スマートインターチェンジ全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。							

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業		コード		03130100-0303	
中事業名		道の駅整備事業		計画区分		①②③	
担当部等		産業政策部		担当課等		基幹施設整備課	
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	13	住宅・市街地形成		款	08	土木費
	主要施策	01	計画的な市街地整備とまちの拠点形成		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	03	道の駅整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略、日進市道の駅基本構想、日進市道の駅基本計画					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	地域活性化の拠点施設として、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく「道の駅」の整備を推進する。
対象	道の駅、周辺道路等
意図（目的）	道路利用者のための環境整備に加え、子育て支援、防災・減災、農業振興といった地域課題の解決を図り、また、市民交流や情報発信の場として活用することで、地域内の経済活性、シティセールスにもつなげていく。
手段	道の駅基本計画、各種設計に基づく用地取得、施設・周辺道路等整備、管理運営事業計画の検討・構築 等

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			726,413	466,702	342,310	180,418	1,990,222	1,673,781	0
財源内訳	特定財源	国庫支出金	19,269	9,883	16,830	15,839	711,751	626,877	0
		県支出金	53,542	0	53,542	1,276	107,850	0	0
		地方債	423,000	328,000	167,000	97,000	855,000	681,700	0
		その他	0	0	0	0	11,911	14,776	0
	一般財源		230,602	128,819	104,938	66,303	303,710	350,428	0
人件費	正規職員	業務量		3.89 人		3.89 人		2.97 人	0.00 人
		人件費		27,323.00		27,323.00		20,861.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				494,025		207,741		1,694,642	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	本市の道の駅が、にぎわいや活気を創出するものとなるよう、指定管理者と綿密な協議を行う必要があるため、指定管理者との定例会を毎週開催し、必要に応じて随時協議ができる体制を構築する。また、指定管理者が市内に常駐し、事業者及び各団体から意見を伺い、開駅に向けたイベントや出品物等の調整・企画を行うことができるようにする。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	開駅前だけではなく、開駅後の状況についても詳細に把握し、必要であれば課題の解決にもつなげることができるよう、地元本郷区や関係機関等と十分な協議、調整等を行う場を継続的に開催する。
令和 6年度に 取り組んだこと	地域振興施設の建設工事や敷地内整備工事、周辺道路改良工事などを実施した。管理運営面では指定管理者と毎週定例会を開催し、必要な協議や情報交換を行った。また、令和6年10月には開駅前シンポジウムを開催し、道の駅開駅に向け周知を図ったほか、生産者協議会の発足に向けて出品者募集説明会を3回開催した。
成果	地域振興施設の建設工事は年度内に完了したほか、敷地内整備工事や周辺道路改良工事など必要な工事を進めた。管理運営面では、指定管理者との間で基本協定書を締結した。また、開駅前シンポジウムでは道の駅開駅に向けた機運の醸成を図ったほか、出品者募集説明会では道の駅への出品を幅広く呼び掛けることができた。
課題	開駅の前年度までに周辺道路改良を含めた整備工事を完了する予定だったが、愛知県の施工時期との調整や、開駅時期にあわせて施工する必要性が生じた結果、令和6年度には整備工事が完了せず、令和7年度へ一部工事を繰り越している。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	一部の整備工事が次年度へ繰り越すこととなったが、開駅までには完了する予定である。また、地元本郷区や関係機関等との協議、調整を行いながら進めてきた事業であり、今後も整備事業を継続し、着実に道の駅を開駅する必要があるため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		令和7年度に一部繰越となった整備工事を開駅までに完了する。また、開駅日が令和7年8月8日に決定したが、本市の道の駅がにぎわいや活気を創出するものとなるよう、開駅後も指定管理者と引き続き綿密な協議を行う。			
今後の 方向性	成果	○拡充	○維持	●縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	○維持	●縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		開駅後の状況について詳細に把握し、必要であれば課題の解決につなげることができるよう、地元本郷区や関係機関等と協議、調整等を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	委員会等の開催回数						単位	回
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	4.00	3.00	4.00	1.00	2.00	1.00	1.00	

【アウトカム指標】

指標名	道の駅整備率						単位	%
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	61.00	58.00	67.00	65.00	100.00	94.00	100.00	
式	計画・設計等進捗率(30%)+用地取得率(30%)+工事進捗率(40%)							
指標の狙い	道の駅全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。							